

2022年9月

領域代表として学術変革領域研究（A）に応募する研究者各位

学術研究支援部研究資金担当

科研費 学術変革領域研究（A）2024年度獲得支援について

2021年度より、研究連携推進本部と学術研究支援部による学術変革領域研究（A）の獲得支援を以下のとおり開始しています。2024年度公募にあたり獲得支援を希望する方は、2022年10月31日までに各地区学術研究支援部門までご連絡ください。本学では、領域代表として書面審査を通過しヒアリング審査に進んだ課題は全体の12%程度でしたが、2022年度公募では、獲得支援を利用した2課題中1課題がヒアリング審査に進みました。

1. 獲得支援の概要

- ①アドバイザーが領域の構想や研究体制に関する相談に応じます。
- ②アドバイザーが領域計画書のピアレビューを行います。
- ③アドバイザーが模擬ヒアリングを行います。

2. アドバイザーについて

- ①領域代表にアドバイザー候補（学内教員）の研究分野・経験・実績等を記録したデータベースを見ていただき、希望するアドバイザー候補を選んでいただきます。アドバイザー候補は領域外から選んでいただきます。（2022年11月頃）
- ②学術研究支援部がアドバイザー候補に依頼内容を説明し、内諾を得ます（3名まで）。
- ③学術研究支援部が学部・研究科等に委嘱の手続きを行い、アドバイザーに謝金を支払います。

3. アドバイザーの協力範囲について（①②③それぞれ60分程度を想定しています）

- ①2023年1月～5月頃に、メール・リモート等で領域の構想や研究体制に関する相談に応じさせていただきます。
- ②2023年6月頃に、領域計画書をピアレビューしたコメントシートを記入し、ミーティングに参加していただきます。
- ③2023年10月～11月頃に、模擬ヒアリングに参加し、質疑講評していただきます。2024年3月中に、採否の結果を共有し、総括に参加していただきます。

4. アドバイザーの遵守事項

当該領域が採択に近づくように上記に沿って協力いただきます。アドバイザーは、申請協力の過程で知り得た以下の情報を他に漏らしてはいけません。また、領域代表等の独自性のあるアイデアおよび未発表の研究成果を自身の利益のために利用してはいけません。

- ①領域計画書、研究計画調書、プレゼンテーション資料、補足資料、JSPS の審査結果およびそれらの内容（領域代表が情報提供に同意したものを除く）
- ②領域代表、研究分担者、他のアドバイザーの発言内容
- ③その他非公開とされた情報

5. 本件のご連絡先

各地区研究支援部門：<https://www.research.keio.ac.jp/internal/forms/in/files/rhb2022.pdf>
の 2 ページ目参照

以上